



CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

No. 35 SPRING 1995

35

特集 都市と下水道

下水道整備は、都市の膨張、工業の発達という問題と深くかかわっている。最初に近代下水道を整備したのは19世紀イギリス。日本では同じ19世紀に東京神田区内に初めて下水管が敷設された。直接のきっかけはどちらもコレラの流行である。その後の日本の産業発展、産業構造の変化によって、下水道の役割は衛生問題の対策から、都市環境改善、公共用水域の水質保全へと拡大してきた。今問い直されている都市基盤「下水道」について考える。

CONTENTS

★=編集部

	日本の下水道事情	松尾友矩	3
	雨水対策と下水道	藤田昌一	10
	海外下水道レポート	秋山紀子/★	19
〈ルポルタージュ〉	甦る下水……水洗トイレ用水としての中水利用の現状	★	30
〈図版構成〉	下水道プラスα	★	37
〈ケーススタディ〉	小規模公共下水道への取り組み ― 会津坂下町 ―	★	38
〈写真構成〉	巡回ギャラリー	白汚零	2. 9. 18. 22 24. 29. 36. 44
〈都市を拓いた人々・18〉	別府	吉田豊	45
	INFORMATION		48
	バックナンバーのお知らせ		49